

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2019No.143】（HP 収載）

分類：放送

局等：Eテレ

作曲家：ヨーゼフ・シュトラウス他

曲名：天体の音楽他

演奏：クリスティアーン・ティーレマン指揮ウィーンフィル

関連サイト：<http://www4.nhk.or.jp/P2992/>

概要：

ウィーンフィルニューイヤーコンサート 2019 の生放送および再放送とその録画です。ティーレマンはニューイヤーコンサート初登場です。



演奏曲目は次のとおりです。

1. シェーンフェルト行進曲 作品 422* (ツィーラー)
2. ワルツ「トランスアクツィオネン」 作品 184 (ヨーゼフ・シュトラウス)
3. 妖精の踊り (ヨーゼフ・ヘルメスベルガー2世)
4. ポルカ・シュネル「特急ポルカ」 作品 311* (ヨハン・シュトラウス2世)
5. ワルツ「北海の絵」 作品 390 (ヨハン・シュトラウス2世)
6. ギャロップ[ポルカ・シュネル]「速達郵便で」 作品 259 (エドゥアルト・シュトラウス)
7. 喜歌劇「ジブシー男爵」 序曲 (ヨハン・シュトラウス2世)
8. フランス風ポルカ「踊り子」 作品 227 (ヨハン・シュトラウス2世&ヨーゼフ・シュトラウス)
9. ワルツ「芸術家の生活」 作品 316 (ヨハン・シュトラウス2世)
10. ポルカ・シュネル「インドの舞姫」 作品 351 (ヨハン・シュトラウス2世)
11. ポルカ・フランセーズ「オペラ座の夜会」 作品 162* (エドゥアルト・シュトラウス)
12. エヴァ・ワルツ[喜歌劇「騎士パースマーン」の動機による]* (ヨハン・シュトラウス2世)
13. 喜歌劇「騎士パースマーン」より チャールダーシュ 作品 441 (ヨハン・シュトラウス2世)
14. エジプト行進曲 作品 335 (ヨハン・シュトラウス2世)
15. 幕間のワルツ* (ヨーゼフ・ヘルメスベルガー2世)
16. ポルカ・マズルカ「女性賛美」 作品 315 (ヨハン・シュトラウス2世)
17. ワルツ「天体の音楽」 作品 235 (ヨーゼフ・シュトラウス)[アンコール]
18. ワルツ「美しく青きドナウ」 作品 314 (ヨハン・シュトラウス2世)
19. ラデツキー行進曲作品 228 (ヨハン・シュトラウス1世) の他もう1曲を予定
*ニューイヤーコンサート初登場となる作品

録音は昨年と同じルートで、DA-3000にはGPS-777から44.1KHzのクロックを供給しています。

DMR-UBZ1→DACU-500→Sonica DAC→DA-3000

再生はDA-3000で録音された5.6MzDSD音源をfidataにコピーし、昨年のルートから次のように変更しています。

昨年の再生ルート

fidata HFAS1-S10 →DACU-500→Sonica DAC→DA-3000

→MYTEK DIITAL 192-DSD

今年の再生ルート

fidata HFAS1-S10 →UACU-500→MYTEK Brooklyn DAC+

録音は、昨年と同一条件ですが、機器と再生ルートとが替わったために、ウイー

ン楽友会館大ホールの響きが、より豊かに聴こえてきます。試みに昨年の録音も再生してみましたが、同様でした。

このようにリアルタイムに DSD 録音したものと、DMR-UBZ1 で録画したものを次のルートで再生して比較してみますと、やはり前者の方が、後者の再生経路が長いこともあって鮮度感で勝ります。

DMR-UBZ1→DACU-500→Sonica DAC→DA-3000

→MYTEK Brooklyn DAC+

演奏の方はと言えば、謹厳実直、端正な指揮ぶりのティーレマンも、演奏が進むにつれ、表情が豊かになり、最後の方は、くだけた感じで指揮を楽しみ、ウィーンフィルのメンバーと聴衆の一体感が生まれているようでした。

以上